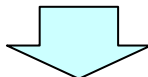


現在のダム機能(ハード設備)で不便なところはありませんか？

●業務の背景



我が国では、完成後長い年月を経過したダムが数多く見られるようになりました。これらのダムでは、完成当時の設備が機能的に老朽化し、現在の要請に十分こたえられないものがあります。

また、物理的に老朽化し、取り替え時期を迎えたダムもあります。

① 機能アップ対策

●古い型式の取水設備を、操作性・取水性能に優れた選択取水設備に切り替える場合

●水利用の変更あるいは新たな需要に対応するため取水設備を新設または改造する場合

●維持放流設備等を増設する場合

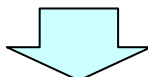
●ダム管理を省力化するため、小規模ダムをゲートレス化する場合

② 老朽化対策

物理的に老朽化した取水設備等を更新する場合

有効な対策をご提案します。

●業務実施上のポイント



古いダムでは、建設時の詳細な資料が不明なことが多く、また、一般に稼動中の施設が対象であるため、調査、設計、施工等がさまざまな制約を受けます。

弊社は数多くの実績を基に、こうした状態に的確に対応します。

●業務実績

ダム名	管轄	業務内容
五十里ダム	関東地方整備局	放流設備(常用洪水吐)の新設 φ 3,800×2 条
五郷ダム	香川県	老朽化したクレストゲートの取り替え
荒沢ダム	山形県	老朽化したクレストゲートの取り替え
萩形ダム	秋田県	利水放流設備(選択取水設備)の新設
宮川内ダム	徳島県	利水放流設備(多孔式)の改修
広瀬ダム	山梨県	維持放流設備の新設
坂下ダム	福島県	取水放流設備の新設
十六橋水門	福島県	スライドゲートの改修(歴史的建造物の保存)

五十里ダム放流設備増設



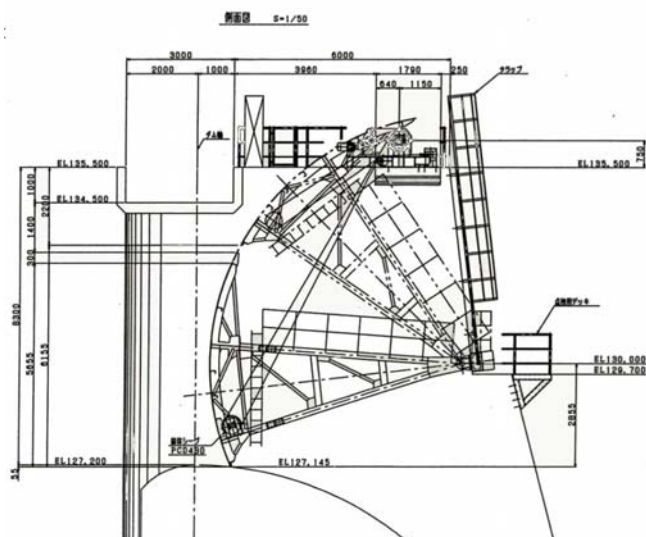
堤体削孔状況



新設放流管および高圧スライドゲート設置状況



坂下ダムクレストゲートの取り替え



萩形ダム選択取水設備の新設

